



例題1

アとイにあてはまる整数を求めなさい。

- (1) $13 \div 5 = \boxed{\text{ア}}$ あまり $\boxed{\text{イ}}$
(2) $86 \div 9 = \boxed{\text{ア}}$ あまり $\boxed{\text{イ}}$
(3) $137 \div 11 = \boxed{\text{ア}}$ あまり $\boxed{\text{イ}}$

答え (1) ア 2 , イ 3 (2) ア 9 , イ 5 (3) ア 12 , イ 5

[例題1の解説]

- (1) 13の中に5は2個入って、3あまります。 $13 \div 5 = 2$ あまり3

わり算での答えを「^{しょう}商」といいます。

アが「商」、イが「あまり」です。

- (2) $9 \times 9 = 81$ なので、86の中に9は9個入って、5あまります。 $86 \div 9 = 9$ あまり5

- (3) ひっ算①のように商が12であまりが5となることがわかります。

$$137 \div 11 = 12 \text{あまり} 5$$

ひっ算②のようにあまりがわる数よりも大きくなるのはまちがいです。

あまりはわる数よりかならず小さくなります。

$$\begin{array}{r} \text{①} \\ 12 \\ 11 \overline{) 137} \\ \underline{11} \\ 27 \\ \underline{22} \\ 5 \end{array}$$

あまり ↑
 $27 - 22 = 5$

$$\begin{array}{r} \text{②} \\ 11 \\ 11 \overline{) 137} \\ \underline{11} \\ 27 \\ \underline{11} \\ 15 \end{array}$$

あまり ↑
 $27 - 11 = 15$

ポイントまとめ

- ・わり算での答えを「^{しょう}商」といいます。
- ・あまりはわる数よりかならず小さくなります。